

所属名	事務事業名	ページ番号
文化財課	文化財保存管理事業	2
文化財課	東名遺跡史跡整備事業	3
文化財課	三重津海軍所跡整備事業	4
文化財課	指定文化財等保存事業	5
文化財課	葉隠発祥の地維持管理事業	6
文化財課	市内遺跡公開活用事業	7
文化財課	地域文化財総合活用推進事業	8
文化財課	肥前国庁跡保存管理事業	9
文化財課	東名遺跡保存管理事業	10
文化財課	地域文化保存・継承支援事業	11
文化財課	市内遺跡発掘調査事業（国庫補助事業）	12
文化財課	出土遺物保存処理事業	13
文化財課	東名遺跡（国庫）分経費	14
文化財課	世界遺産関連分経費（国庫補助事業）	15
文化財課	圃場整備地区内遺跡発掘調査事業	16
文化財課	久保泉工業団地建設に伴う発掘調査事業	17
文化財課	世界遺産関連分経費	18
文化財課	精煉方跡発掘調査経費	19
文化財課	七ヶ瀬遺跡発掘調査	20
文化財課	東高木三本松遺跡	21
文化財課	緊急発掘調査分経費	22

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	文化財保存管理事業	事業期間	昭和 41 ~ 年度
担当部署・係名	文化財課 総務企画係	担当課長名	野田 宣心
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市内に所在する指定文化財等の適正な保存・維持・管理を行うことにより、文化財等の活用を図る。				
事業の対象者	市民				
令和5年度 主な活動実績	指定文化財等の適正な保存・維持のための経常的維持管理。 (除草・清掃作業、防災・消防設備点検、警備業務の委託等。)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	6,885	7,174	9,281	8,416	
うち佐賀市の負担額	956	589	353	1,620	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
適切に維持保全された文化財数						件
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	
229	231 238	240 244	242 249	250		

成果指標②						単位
不具合・トラブルの件数						件
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	
6	6 9	6 9	6 10	6		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	「適切に維持保全された文化財数」については、指定・登録文化財の増加により、令和5年度目標を上回ったものの、数多くある文化財説明板等や設備等の老朽化が進んでいることもありトラブルの件数が目標値（上限値）を上回った。引き続き文化財の適切な維持管理のため随時現地確認や情報収集等を行い、早めの対策に努める。



成果目標達成に向けた対応策等
本事業は、指定文化財の適正な保存・維持・管理が主であり、今後も現状の継続的な維持管理を行っていく。一部、文化財の説明板等や設備等に老朽化しているものがあり、今後も順次確認や修繕を行っていく必要がある。

令和6年度 公共事業進捗報告シート

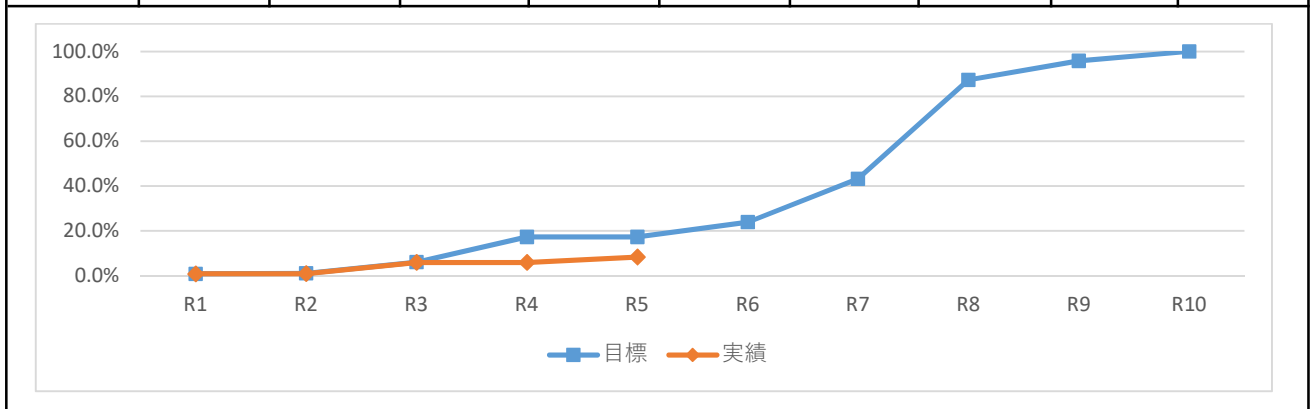
公共事業名	東名遺跡史跡整備事業		事業期間	平成 30 ~ 令和 10 年度
担当部署・係名	文化財課 史跡整備係		担当課長名	野田 宣心
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	28未来につながる文化の振興		
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用		

1 公共事業の基本情報

整備概要	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡東名遺跡とそのガイダンス施設を一体的に整備する。 ・市内遺跡から出土した出土遺物等の整理、収蔵及び保管する埋蔵文化財センターの整備を行う。 				
整備の目的	史跡東名遺跡と市内遺跡の資料を適切に保存し活用を図るため。				
事業費決算 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
工事請負費				2,115	
測量・監理等委託料	5,054	3,355	1,458	191	6,209
用地購入費				57,479	
補償費				95	
その他事務費等	446	731		46	425
計	5,500	4,086	1,458	59,926	6,634
うち佐賀市の負担	1,760	1,960	1,458	6,026	5,532
区分	R5年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					2,115
測量・監理等委託料	29,829				46,096
用地購入費					57,479
補償費					95
その他事務費等	1,981				3,629
計	31,810				109,414
うち佐賀市の負担	24,030				40,766

2 事業の進捗率

目標 R1 実績	目標 R2 実績	目標 R3 実績	目標 R4 実績	目標 R5 実績	目標 R6 実績	目標 R7 実績	目標 R8 実績	目標 R9 実績	目標 R10 実績
0.8%	1.0%	6.0%	17.2%	17.2%	23.9%	43.1%	87.3%	95.8%	100.0%
0.8%	0.9%	5.9%	5.9%	8.3%					



令和6年度 公共事業進捗報告シート

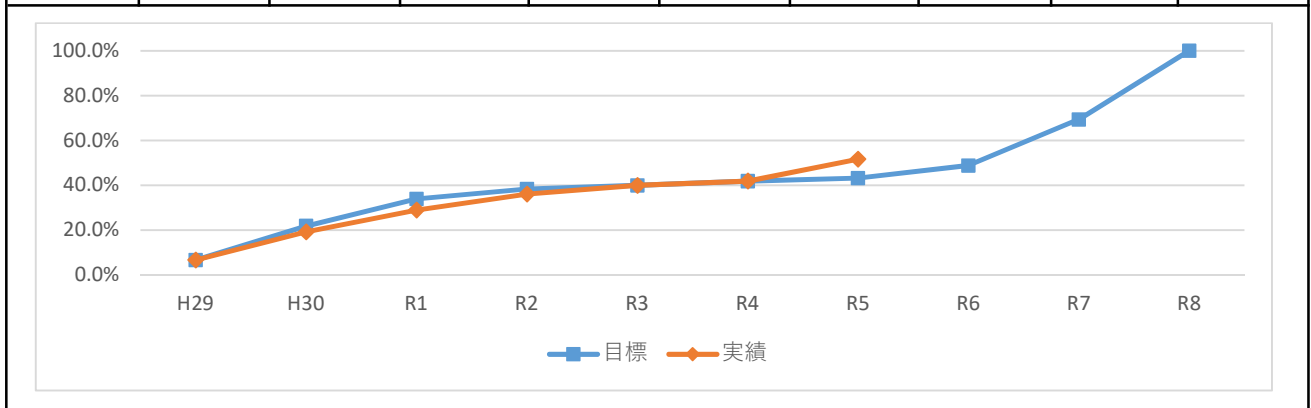
公共事業名	三重津海軍所跡整備事業	事業期間	平成 29 ~ 令和 8 年度
担当部署・係名	文化財課 史跡整備係	担当課長名	野田 宣心
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 公共事業の基本情報

整備概要	平成29年度に策定した「三重津海軍所跡の保存・整備・活用に関する計画」に基づき、史跡の現地整備・整備報告書の作成・地下水モニタリング・駐車場の移転整備を実施する。				
整備の目的	<ul style="list-style-type: none"> 地下遺構である三重津海軍所跡の「見える化」を行い、史跡の全体像の理解増進を図る。 史跡の保存強化。 				
事業費決算 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
工事請負費	0	26,760		37,313	3,208
測量・監理等委託料	10,046	40,416	54,610	2,099	2,654
用地購入費	28,644				
補償費				783	
その他事務費等	580	4,097	2,128		2,171
計	39,270	71,273	56,738	40,195	8,033
うち佐賀市の負担	5,640	32,496	32,021	5,324	6,811
区分	R4年度	R5年度	年度	年度	合計
工事請負費	110				67,391
測量・監理等委託料	7,558	30,692			148,075
用地購入費		20,771			49,415
補償費		49			832
その他事務費等	549	896			10,421
計	8,217	52,408			276,134
うち佐賀市の負担	3,219	3,398			88,909

2 事業の進捗率

H29	目標	H30	目標	R1	目標	R2	目標	R3	目標	R4	目標	R5	目標	R6	目標	R7	目標	R8	目標
	実績		実績		実績		実績		実績		実績		実績		実績		実績		実績
	6.6%		21.8%		33.9%		38.4%		40.0%		41.8%		43.2%		48.8%		69.4%		100.0%
	6.8%		19.2%		29.0%		36.0%		40.0%		41.8%		51.6%						



令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	指定文化財等保存事業	事業期間	昭和 41 ~ 年度
担当部署・係名	文化財課 総務企画係	担当課長名	野田 宣心
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	①佐賀市所在の指定文化財の適切な保存を図ることを目的に、主として保存修理事業等を行う。佐賀市指定の場合は単独補助、国県指定の場合は継足補助を行う。 ②無形民俗文化財の継承支援のため、保存団体等の実施する無形民俗文化財継承事業に対して補助を行う。(対象団体：13団体)				
事業の対象者	指定文化財所有者、指定無形民俗文化財保存団体				
令和5年度 主な活動実績	①重要文化財保存修理1件、重要文化財管理補助2件、佐賀市文化財保存事業費補助2件 「吉村家住宅」、「山口家住宅」、「与賀神社楼門」、「国相寺の楠」、「快万浮立(用具)」 ②12の指定無形民俗文化財のうち10件(11団体)に対し補助金を交付 「白鬚神社の田楽」「見島のカセドリ」「三重の獅子舞」「市川の天衝舞浮立」「浮立玄蕃一流」「高木八幡ねじり浮立」「小松の浮立」「海童神社奉納浮立」「東与賀銭太鼓」「快万浮立」				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,289	1,454	6,541	29,300	
うち佐賀市の負担額	1,648	792	1,522	4,071	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市所在指定・登録文化財数						件
R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
229	231 238	240 244	242 249	250		

成果指標②						単位
指定無形民俗文化財継承支援の補助件数						件
R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
7	12 5	12 7	12 10	12		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	指定・登録文化財の増加により「佐賀市所在指定・登録文化財数」は令和5年度目標を上回った。「指定無形民俗文化財継承支援の補助件数」については、補助実施体制を整えていたものの、令和5年度もコロナ禍前の水準には戻り切れていない。

成果目標達成に向けた対応策等

文化財保存事業は文化財所有者による実施が基本原則であるものの、本市が適切な補助を行うことは条例に定められており、今後も同様の事業展開を基本とする。また、補助事業は限られた予算内での実施になるため、所有者には事前の相談と計画的な補助金の活用をお願いするとともに、所有者負担の軽減や保存・継承の促進のために民間助成金制度の利用も促している。無形民俗文化財については、令和3年度以降行事が復活しつつあるとはいえ、まだコロナ禍の影響から脱し切れていない面もあり、継承が途絶えないように保存団体と課題・問題を協議・検討していく必要がある。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

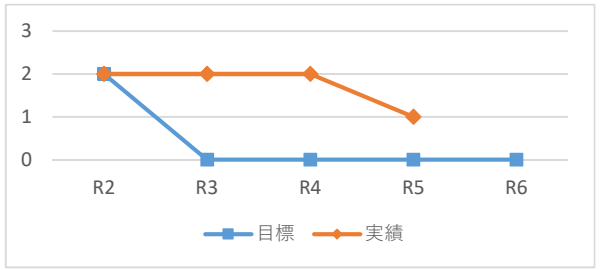
事務事業名	葉隠発祥の地維持管理事業	事業期間	昭和 47 ~ 年度
担当部署・係名	文化財課 総務企画係	担当課長名	野田 宣心
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

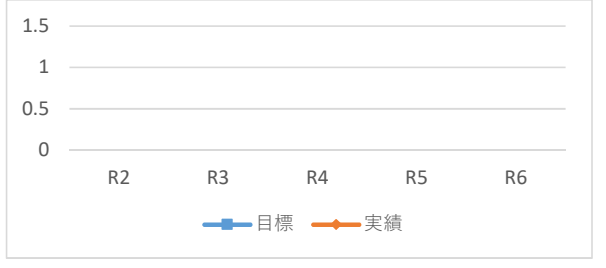
事業概要・目的	市指定の史跡である「葉隠発祥の地」を良好な状態に保つため、維持管理（清掃、除草等）を地元自治会等に委託して行っている。				
事業の対象者	市民				
令和5年度主な活動実績	・地元自治会等に委託し、除草、雑木の剪定、樹木の消毒、清掃などの管理を行った。 保存管理活動日数実績（R5）： 54日				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,064	3,022	5,870	3,021	
うち佐賀市の負担額	3,064	3,022	5,870	3,021	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
施設等への苦情件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2	0 2	0 2	0 1	0		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	管理対象範囲が広く、樹木の繁茂による近隣への影響が出やすく、また風水害等による被害も生じやすいため、随時現地確認や情報収集等を行い、早めの対策に努める必要がある。目標値に至っていないものの苦情件数は令和5年度は1件にとどまっている。



成果目標達成に向けた対応策等
史跡の維持管理は、地元自治会等により適切に管理されている。多額の経費を必要とすることから一度に大規模な改修は困難だが、可能な限り史跡環境の改善を図り、今後も、さらに訪問者が利用しやすい環境整備を行っていきたい。また、史跡の活用方法やあり方等についても検討する。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

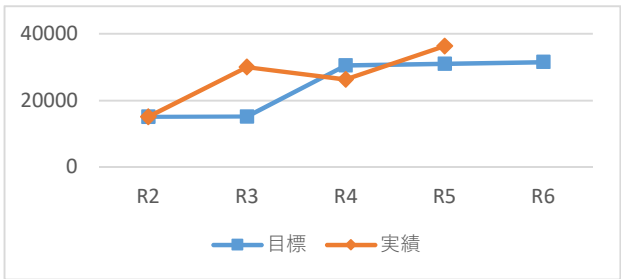
事務事業名	市内遺跡公開活用事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	文化財課 史跡整備係	担当課長名	野田 宣心
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

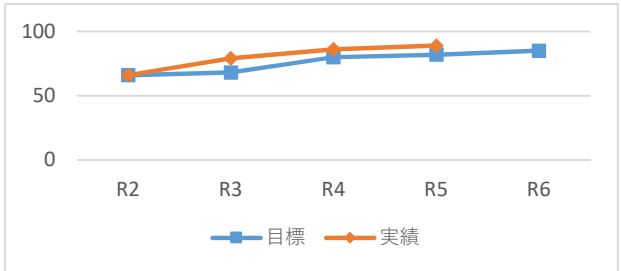
事業概要・目的	発掘調査で得られた資料を広く市民に公開活用するため、展示解説や体験学習・講演会などを開催する。主に東名遺跡をとりあげ、全国的に見ても大変貴重であるこの遺跡の重要性を市民に知らせ周知化を図る。市内の小中学校で東名出土遺物の展示や出前授業をおこない、教科書にも取り上げられているこの遺跡についての理解を深める。体験学習を通して、縄文時代の生活を追体験することで、遺跡についての関心を持たせる。				
事業の対象者	市民				
令和5年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での出前授業 ・東名遺跡出土遺物に関する企画展や体験学習 ・東名遺跡、縄文時代に関連する講座 ・肥前国庁講座及び企画展 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,000	2,000	2,000	2,000	
うち佐賀市の負担額	640	640	640	600	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
イベントへの参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
15,090	15,200 30,038	30,500 26,318	31,000 36,292			



成果指標②						単位
イベントに参加して遺跡の重要性を認識した割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
66	68 79	80 86	82 89	85		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	前年度と比べ、新型コロナウイルス感染症の影響が薄れ、参加者が増加したものと考えられる。



成果目標達成に向けた対応策等
さらなる参加者の増加とともに、遺跡への関心を持っていただく裾野を広げるためにも、地域と連携したイベントや内容の充実を図っていく必要がある。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	地域文化財総合活用推進事業	事業期間	令和元～令和6年度
担当部署・係名	文化財課 総務企画係	担当課長名	野田 宣心
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	指定無形民俗文化財の代表者等で構成される佐賀市文化財総合活用推進事業実行委員会が作成する映像記録（継承用及び普及用）作成事業に対して補助を行う。 ①継承用：準備から本番、片付けまでの流れを映像で記録し、継承のために各保存会を中心に活用する。 ②普及用：各地域の無形民俗文化財を広く情報発信するため、継承用映像の短縮版を作成し、HPや公共施設等での公開、保存会が行う普及活動にも活用する。				
事業の対象者	佐賀市文化財総合活用推進事業実行委員会、指定無形民俗文化財保存会、市民				
令和5年度主な活動実績	佐賀市文化財総合活用推進事業実行委員会が実施した指定無形民俗文化財2件（市川の天衝舞浮立、浮立玄蕃一流(西神野)）の継承用及び普及用映像記録作成事業に対して補助を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	0	2,501	2,858	
うち佐賀市の負担額	0	0	1	11	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
各保存会の会員数（維持）						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績
462	462	462	518	566	462	518
						566

成果指標②						単位
地域の伝統行事等への来場者数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績
0	5100	5400	5400	5400	0	1195
						5150

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	令和2年度及び3年度においてはコロナ禍により佐賀市文化財総合活用推進事業実行委員会を構成する全保存会において行事が中止となったため成果指標②はゼロ値となり、令和5年度においては、コロナ禍の影響からいまだ抜け出せない中、保存会や地域の危機意識及び伝統を絶やしたくないという意識の高まりにより、ほとんどの保存会が行事の実施を決断し、目標の見学者数に近づいている。

成果目標達成に向けた対応策等

作成した映像記録を各保存会の活動や市の広報媒体等において活用することで、各地域でこれらの無形民俗文化財を地域固有の文化としてまちづくりに生かしていこうという機運を高め、また、行政と保存会等が協力しながら情報発信を行い、できるだけ早く以前のような行事の実施を復活させ、これらを一層情報発信していくことでより効果的な事業の成果を目指していく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	肥前国庁跡保存管理事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	文化財課 調査係	担当課長名	野田 宣心
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	肥前国庁は奈良～平安時代にかけての約200年間この地に存在し、肥前国（佐賀・長崎）を統括した役所の跡で、国の史跡に指定されている。南門跡の復元や、ガイダンス施設が整備され、施設の管理とともに、歴史教育や生涯学習の場として企画展・講座・芸能祭等を実施し活用を図っている。				
事業の対象者	市民				
令和5年度主な活動実績	肥前国庁跡歴史公園及び肥前国庁跡資料館の適正な管理のための経常的維持管理。（資料館の運営管理、公園内の除草、資料館の清掃作業・防災・消防設備点検・警備業務の委託等） 南門をライトアップした芸能祭の実施。 資料館での企画展・講座等を実施。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	9,735	9,853	9,923	11,569	
うち佐賀市の負担額	4,438	2,856	199	2,414	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
肥前国庁跡資料館入館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,863	2,500 2,685	2,900 2,222	3,000 2,348	3,100		

成果指標②						単位
肥前国庁跡資料館子どもの入館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
109	150 789	850 249	850 209	850		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	来館者数は微増したが、目標数には達していない。企画展・講座・芸能祭等を実施しているが、幅広い年齢層の増加にはつなげていない。来館者増を図るためには子供から大人まで楽しめるようなイベントや展示を検討する必要がある。



成果目標達成に向けた対応策等
肥前国庁跡歴史公園及び資料館の更なる活用を図るため、市が主催するイベントや展示だけでなく、地元まちづくり協議会や外部団体と協働したイベントや展示を検討していく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	東名遺跡保存管理事業	事業期間	平成 29 ~ 年度
担当部署・係名	文化財課 史跡整備係	担当課長名	野田 宣心
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	国史跡である東名遺跡の適切な保存管理を図る。				
事業の対象者	市民、東名縄文館の利用者				
令和5年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・保存環境を監視するモニタリング調査の実施 ・史跡地の除草管理及び東名縄文館の運営 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,952	6,677	6,183	6,123	
うち佐賀市の負担額	3,703	2,281	105	977	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
東名縄文館の入館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,500	1,600 1,832	2,000 2,718	2,200 1,951	2,400		

成果指標②						単位
モニタリング調査における異常値検出回数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	0 0	0 0	0 0	0		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	東名縄文館への来館者には直接反映されていないが、地域と連携した屋外でのイベントを行っており、東名遺跡の認知度は高まったと考えられる。



成果目標達成に向けた対応策等
東名遺跡を恒久的に保存・継承していくため、適切な維持管理を継続していく必要がある。 現在進めている史跡整備事業を視野に入れ、東名縄文館と史跡地を連携させた活用方法を検討していく必要がある。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	地域文化保存・継承支援事業	事業期間	平成 21 ~ 年度
担当部署・係名	文化財課 総務企画係	担当課長名	野田 宣心
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市固有の生活文化や歴史・文化などを次世代に引き継ぐため、次の対象事業①②に対し、補助金を交付する。補助金の交付にあたっては、申請案件を地域文化支援審査会に諮り、決定する。 ①地域資源の保存又は継承につながる自主的な事業（経費の2/3以内で上限30万円の補助） ②地域の伝統芸能等に係る用具の修繕、購入、復元等を行う事業（経費の1/3以内で上限30万円の補助）				
事業の対象者	地域住民で組織された団体や佐賀市に拠点がある市民活動団体				
令和5年度主な活動実績	博愛の里中川副まちづくり協議会(中川副校区発信戦争体験伝承事業 冊子作成)及び駄市川原自治会(北村天満宮補修事業)の2団体に対して補助を行い、その事業を支援した。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,261	1,653	1,505	523	
うち佐賀市の負担額	829	216	0	0	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
保存・活用された資源の数						件
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
3	4	5	4	3	4	2
成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	市報、ホームページのほか、校区公民館への周知も行い、事前相談は5件ほどあったものの、申請に至ったものは2件に留まり、目標を下回った。



成果目標達成に向けた対応策等
令和5年度は事前相談件数は一定数あったものの、必ずしも5年度に必要な事業ではなかったものや団体内で申請のための最終的な調整がつかなかったものもあり、実際に申請に至ったものは少なかった。また、依然としてコロナ禍の影響から脱し切れていないためか、令和4年度と同様に地域の伝統芸能等に係る用具の修繕、購入、復元等を行う事業の申請はなかったため、引き続き様々な団体に事業を活用してもらえるよう、より分かりやすい形での周知を図っていく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市内遺跡発掘調査事業（国庫補助事業）	事業期間	平成 元 ~ 年度
担当部署・係名	文化財課 調査係	担当課長名	野田 宣心
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	開発行為前に埋蔵文化財の有無・内容を確認する確認調査を実施、破壊が避けられない場合は本発掘調査を実施。個人住宅や個人経営の店舗建設等について、過度の負担をお願いできないものは、本事業により発掘調査を実施する事で経費負担の軽減を行っている。				
事業の対象者	市民				
令和5年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・遺跡の保存措置について開発側と協議をおこない、できる限り現状保存を行った。 ・発掘調査の報告書を作成・刊行した。 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	24,154	32,856	29,140	21,944	
うち佐賀市の負担額	3,889	10,513	9,325	6,583	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
確認調査件数						件
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績
154	160	160	160	160	165	136

成果指標②						単位
本調査件数						件
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績
6	10	10	10	10	9	5

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	個人住宅の建設に係る調査件数が増加している中で、国の予算措置や調査体制の関係から調査を先送りしている状況にある。



成果目標達成に向けた対応策等
国と県へ働きかけに取り組んで行くと共に、申請者と関連業者にご理解をいただいた上、入居時期等に影響がないスケジュール調整に努める。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	出土遺物保存処理事業	事業期間	平成 9 ~ 令和 年度
担当部署・係名	文化財課 調査係	担当課長名	野田 宣心
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	発掘調査によって得られた遺物のうち、木製品や金属製品等は脆弱で通常の保管方法では劣化が進行してしまうため、専門機関に保存処理を委託する。				
事業の対象者	市民、木製品等の脆弱遺物				
令和5年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 発掘調査で出土した重要遺物に保存処置を施し、その恒久的保存を図った。 尼寺一本松遺跡出土遺物（銅鏡）1点の保存処理を行った。 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,400	3,680	2,420	788	
うち佐賀市の負担額	2,368	1,178	775	158	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
保存処理の進捗率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
56	57 57	58 58	59 59	61		

成果指標②						単位
保存処理遺物の展示点数						点
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
27	30 33	35 35	40 36	45		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	国の予算措置の影響により、計画通り進んでいない。



成果目標達成に向けた対応策等
国と県への働きかけに取り組んで行くと共に、計画的な保存処理を継続する。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	東名遺跡（国庫）分経費	事業期間	平成 21 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	文化財課 史跡整備係	担当課長名	野田 宣心
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	東名遺跡の総合的な価値づけを行うため、出土遺物の整理や各種分析調査を実施し、その成果を掲載した報告書を作成する。				
事業の対象者	市民				
令和5年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・東名遺跡出土遺物の整理作業 ・研究機関への委託による植物性遺物の調査 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,970	3,680	5,000	4,580	
うち佐賀市の負担額	1,270	1,178	1,600	1,374	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
報告書作成（整理作業）の進捗状況						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
70	75 73	80 77	90 80	100		

年度	目標	実績
R2	75	73
R3	80	77
R4	90	80
R5	100	
R6		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2		
R3		
R4		
R5		
R6		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	国の予算措置の影響により、当初計画より進捗がやや遅れている。



成果目標達成に向けた対応策等
遺跡の持つ本質的価値を明らかにするため、様々な分野での調査研究を進めると同時に、その成果を迅速に公開し活用する必要があることから、引続き国や県に働きかけ、取り組んでいく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	世界遺産関連分経費（国庫補助事業）	事業期間	平成 21 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	文化財課 史跡整備係	担当課長名	野田 宣心
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つである史跡三重津海軍所跡の整備活用に向けた調査研究の蓄積及び幕末佐賀藩産業遺跡の調査を進める。				
事業の対象者	市民				
令和5年度 主な活動実績	史跡三重津海軍所跡の整理調査を実施し、「佐賀市重要産業遺跡関係調査報告書第14集」として三重津海軍所跡御船屋地区の調査報告書を刊行した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	17,180	13,150	9,440	8,870	
うち佐賀市の負担額	5,498	4,208	3,035	2,661	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
報告書作成進捗(三重津海軍所跡)						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	35 35	50 50	80 80	100		

Year	Target (%)	Actual (%)
R2	0	0
R3	35	35
R4	50	50
R5	80	80
R6	100	100

成果指標②						単位
						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

Year	Target (%)	Actual (%)
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	予定していた重要産業遺跡関係調査報告書14集を刊行した。



成果目標達成に向けた対応策等
今後の整備や活用等に向けて、遺跡の価値付けの調査を計画的に継続する。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	圃場整備地区内遺跡等発掘調査事業	事業期間	令和 4 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	文化財課 調査係	担当課長名	野田 宣心
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	高木瀬地区圃場整備事業に伴い、発掘調査と整理調査を行う。 ・小里一本松遺跡2区、小里一本松東遺跡1区・2区：令和4年度は発掘調査、令和5年度に整理調査を実施。 ・小里一本松東遺跡3区：令和5年度は発掘調査を実施し、令和6年度は整理調査を実施予定。				
事業の対象者	市民				
令和5年度主な活動実績	・小里一本松遺跡2区、小里一本松東遺跡1区・2区 整理調査を実施、調査報告書を刊行。 ・小里一本松東遺跡3区 圃場整備に伴う確認調査で、新規に発見された遺跡であり、調査面積は1200㎡。記録保存を目的とした発掘調査を実施した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額			12,480	15,000	
うち佐賀市の負担額			468	563	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位	
進捗状況（記録保存）						%	
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績			
		40 40	80 35	100			
成果指標②						単位	
調査面積						㎡	
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績			
		1,130 1,130	1,320 1,200				

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	予定していた調査面積の現地調査はスケジュール通りに終了した。



成果目標達成に向けた対応策等
スケジュールを適切に管理して調査の成果を高めるように努める。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	久保泉工業団地建設に伴う発掘調査事業	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	文化財課 史跡整備係	担当課長名	野田 宣心
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	報告書未刊となっている調査区について、整理調査及び報告書作成を行い、久保泉工業団地関係発掘調査を完了させる。発掘調査を実施した遺跡についての基本となる資料を公表することにより、それが今後の調査・研究の一助となり、その成果等により、一般市民の歴史、文化及び文化財保護についての理解の深化が図られる。				
事業の対象者	市民				
令和5年度 主な活動実績	整理調査及び報告書作成				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,757	1,296	662	655	
うち佐賀市の負担額	1,753	1,292	660	651	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
報告書作成の進捗						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
94	94 94	94 94	97 95	97		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	整理調査の内容によっては進捗にばらつきはあるものの、概ね順調に進んでいる。



成果目標達成に向けた対応策等
事業完了に向けて計画的に作業を進める。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	世界遺産関連分経費	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	文化財課 史跡整備係	担当課長名	野田 宣心
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	・『明治日本の産業革命遺産』の構成資産の一つである史跡三重津海軍所跡の整備活用及び幕末佐賀藩産業遺産関連の文献調査。 ・史跡三重津海軍所跡の管理				
事業の対象者	市民				
令和5年度 主な活動実績	・幕末佐賀藩産業遺産関連の文献調査 ・史跡三重津海軍所跡除草				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,889	8,623	8,934	5,075	
うち佐賀市の負担額	7,889	8,623	8,934	5,075	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
三重津海軍所跡関連文献調査の進捗率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
60	70 70	80 80	90 90	100		

成果指標②						単位
精煉方跡関連文献調査の進捗率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
10	10 10	15 15	20 20	25		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	三重津海軍所跡の文献調査は概ね計画的に進んでいる。



成果目標達成に向けた対応策等
三重津海軍所跡以外の幕末産業遺産について、遺跡の価値付けのため、発掘調査と連動した文献調査の年次計画を策定する。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	精煉方跡発掘調査経費	事業期間	平成 30 ~ 年度
担当部署・係名	文化財課 調査係	担当課長名	野田 宣心
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	幕末佐賀藩産業遺産の一つである精煉方跡について、遺跡の性格を解明するための発掘調査等を進める。				
事業の対象者	市民				
令和5年度 主な活動実績	遺構分布の確認調査及び出土遺物等の整理				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,954	1,273	4,713	4,915	
うち佐賀市の負担額	2,954	1,273	4,713	4,915	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
事業の進捗率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	10 10	20 20	30 30	40		

成果指標②						単位
出土遺物整理 (コンテナ数)						箱
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
			10 10	10		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	現地調査は調査指導委員の個別指導を受けながら実施し、目的を達成した。



成果目標達成に向けた対応策等
精煉方跡に関しては、引き続き、確認調査と整理調査を実施する必要がある。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	七ヶ瀬遺跡発掘調査	事業期間	令和 元 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	文化財課 調査係	担当課長名	野田 宣心
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀コロニー跡地県営産業用地造成事業に係る埋蔵文化財調査 R1～R3年度：現地調査(4100㎡) (※遺跡の重要性から現地保存が決定し事業内容を変更したため、発掘調査はR3まで) R2～R6年度：報告書作成				
事業の対象者	市民				
令和5年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・遺物洗浄作業及び一部整理作業の業務委託を実施 ・各研究機関に受託研究を依頼し、遺物の保存修復作業等を実施 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	61,976	30,103	22,316	31,925	
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
調査面積						㎡
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3,000	100 100					

成果指標②						単位
報告書作成（整理作業）の進捗状況						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
30	50 45	60 60	80 80	100		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	予定していた整理作業（遺物・土壌洗浄、接合、実測）、業務委託は実施できた。



成果目標達成に向けた対応策等
令和6年度の報告書の刊行に向けて、整理作業を進めるとともに各種調査研究、業務委託等を実施し計画的に事業を進める必要がある。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

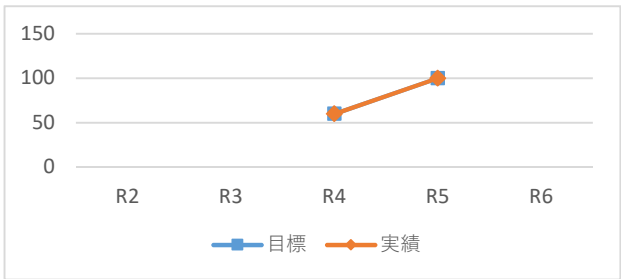
事務事業名	東高木三本松遺跡発掘調査	事業期間	令和 4 ~ 令和 5 年度
担当部署・係名	文化財課 調査係	担当課長名	野田 宣心
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

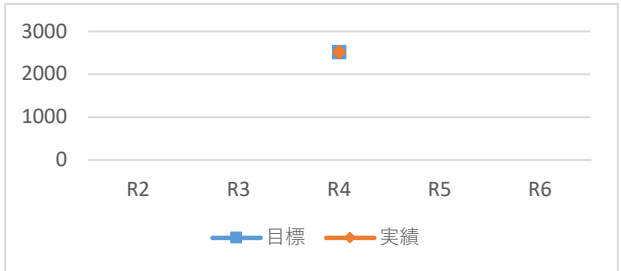
事業概要・目的	県道佐賀川久保鳥栖線(高木瀬工区)の路線上の遺跡の発掘調査。令和4年度は記録保存を目的とした発掘調査(調査面積2,520㎡)を実施。令和5年度に整理調査を実施。				
事業の対象者	市民				
令和5年度 主な活動実績	令和5年度は整理事業を実施した。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額			14,080	2,183	
うち佐賀市の負担額			0	0	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
事業の進捗状況						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
		60 60	100 100			



成果指標②						単位
調査面積						㎡
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
		2,520 2,520				



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	事業計画に従い業務を実施し、整理作業及び報告書を刊行した。



成果目標達成に向けた対応策等
令和5年度に事業を終了した。

令和6年度 事務事業実績報告シート

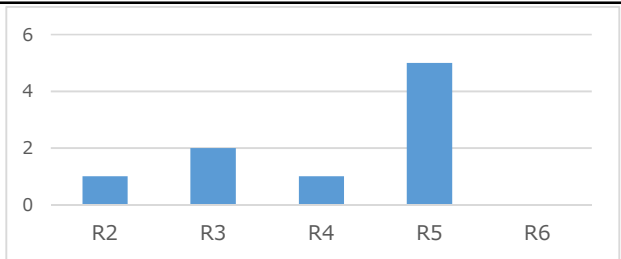
事務事業名	緊急発掘調査分経費	事業期間	平成 元 ~ 年度
担当部署・係名	文化財課 調査係	担当課長名	野田 宣心
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

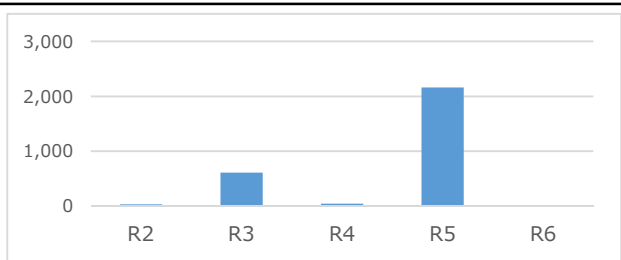
事業概要・目的	緊急に発生した民間開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査及び報告書作成。 緊急的な発掘調査を迅速かつ滞りなく実施する。 記録保存として発掘調査報告書を作成・刊行し、調査成果を公開する。				
事業の対象者	市民				
根拠法令等	文化財保護法				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	498	1,552	624	15,252	
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
民間開発に伴う発掘調査					件
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
1	2	1	5		



活動実績②					単位
調査面積					m ²
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
30	604	40	2,159		



3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

事業予測が立てにくいため、民間業者等の開発計画を事前に把握し、スケジュール調整を図りながら事業を進めたい。